



平成29年11月6日

各 位

会 社 名 株式会社船井総研ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 グループCEO 高嶋 栄
(コード番号 9757 東証第1部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
経営管理本部本部長 奥村 隆久
(TEL. 06-6232-0130)

業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年2月6日に公表いたしました平成29年12月期（平成29年1月1日～平成29年12月31日）通期の業績予想について下記のとおり修正し、また、平成29年11月6日開催の取締役会において、1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 通期の連結業績予想数値の修正（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	18,000	3,900	3,900	2,600	77円31銭
今回修正予想（B）	18,400	4,500	4,500	3,000	88円93銭
増減額（B－A）	400	600	600	400	—
増減率（％）	2.2	15.4	15.4	15.4	—
（参考）前期実績 （平成28年12月期）	16,433	3,859	3,866	2,558	75円61銭

(2) 修正の理由

連結売上高につきましては、主力の経営コンサルティング事業において、業種・テーマ別に開催している経営研究会の会員数の増加や、時流に適した業績向上ソリューションの確立と進展、若手コンサルタントの早期育成効果等により、コンサルティング契約の受注が好調に推移し、当初の計画を上回る見込みとなりました。また、利益面につきましても、前述の増収要因に加えて、経営コンサルティング事業及びロジスティクス事業において比較的利益率の高い大型案件の受注が好調に推移したこと、セミナー集客の効率化による集客コスト削減、業務効率化を目的としたTV会議システムの導入による旅費交通費の削減の取組み等が営業費用の大幅な削減につながったため利益率が向上し、当初の通期連結業績予想数値を上回る見込みとなりましたので業績予想を修正するものであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想		24 円	39 円
今 回 修 正 予 想		30 円	45 円
当 期 実 績	15 円		
前 期 実 績 (平成 28 年 12 月期)	15 円	21 円	36 円

(2) 修正の理由

当社は株主の皆様への適切な利益還元を経営の最重要課題として認識しており、総還元性向 50%以上を目指すことを基本方針としております。

上記基本方針を踏まえ前述の業績予想の修正を鑑み、平成 29 年 12 月期の期末配当金を当初予想の 1 株当たり 24 円から 30 円と 6 円増配させていただく予定であります。

なお、本件は、平成 30 年 3 月開催予定の第 48 期定時株主総会において付議する予定であります。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上